

Ambitious アンビシャス



表紙は語る

「ALS 家族として」

アンビシャス通信

11月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ 第9回

『患者学』 加藤 眞三教授

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

沖縄県内難病患者団体一覧

アンビシャス広場

【最終回】

エッセイ 諸喜田 美智代さん

患者団体からのお便り

読者の声

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

編集後記

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

【予告】

加藤眞三教授 特別講演会のお知らせ

表紙は語る

諸喜田 幸代（しよきた さちよ）さん ALS家族として

母が伝えてくれる一文字一文字をこれからもっと大切に。



昨年9月 北部保健所での「当事者の視点からの講演会」で戦員や関係者から盛大な出迎えを受ける。

私の母はALSと告知されて7年、人工呼吸器をつけて3年になります。

『お母さんは病気かもしれない。』

当時退職まで残り1年、石垣に単身赴任中だった母が週末自宅に戻ってきた時に、話があると呼ばれ突然言われました。

左手に力が入らない、思い当たる病気で間違いなければ、それはすぐ大変な病気だと。

そんなまさか：きつと治る病気だ、そうであってほしいと願う気持ちでいっぱいでした。その後の詳しい検査でALSとの診断が下り、主治医からALSとはどういう病気か説明を受けました。

病気が進行すれば今後、人工呼吸器をつけるかどうかの選択をしなければいけない事も。母は呼吸器をつける事を希望していたし、私もそうしてほしいと思っていました。

でもこの時はまだ、母がALSという病気なのだという事、人工呼吸器をつけるという事はどういう事

なのかをしつかり理解出来ていなかったし、本当にそんな風になってしまうのか想像すら出来ませんでした。

その後左手以外の場所にも病気の症状が始めていましたが、長年勤めてきた保健師という仕事を最後まで勤め上げ、なんとか無事退職の日を迎えられた事は本当に良かったなと思います。

母の病気の進行は早く、私は仕事と介護の両立が難しくなり、4年前仕事を辞め、今は介護中心の生活をしています。

最初の頃は本当に壮絶でした。どんな症状が進む母の姿、一気に増えていく介護負担、大好きだった仕事も辞めて、自分の自由がなくなっていくらだち、現実を受け止めきれず、一番苦しいはずの母に強く当たりました。

心のバランスが崩れかけていた私を支えてくれたのは当時担当の保健師さんでした。

保健師の島袋さんは、辛いこと悲しいこと、誰にも言えない思いも全部、

親身になって聞いてくれました。一緒に悩んだり笑ったり、1人じゃないんだと感じさせてくれた島袋さんは今でもすごく心強い存在です。また、その後を受け担当として頂いている上原さんはじめ、他の保健師にもとても勇気付けられています。家族会もそうです。同じ悩みを持つ人と話せる場所がこの家族会です。ここで悩みを相談したり、情報を交換したり、私にとってなくてはならない場所です。

母の病気の症状が進み、なにか良い意思伝達装置はないかと探していた時も、ALS家族会の方からの情報のおかげで、視線入力装置マイトビーと出会う事が出来ました。

ALS家族会は、面白くて暖かい人達がたくさんいるので、参加するたびいつぱい笑って元気を貰って帰っています。

患者家族会はALSだけではありません。アンビシャスには患者会の



会話はマイトビーや文字盤を使って。



マイトビーを駆使して当事者の立場で講演中の諸喜田さん。

情報がたくさん載っています。なにかもし1人で悩みを抱えている方がいましたら、一度ぜひ参加してみてほしいと思います。

いま母の病気はかなり進行し、唯一自分の意思で動かせていた目の動きも、自由に動かせなくなっています。これまでなんとか頑張つて仕上げてきたエッセイも残念ながら今月分で最後になりました。まだまだ頑張つて続けてほしかったというのが私の本音です。でもそれは母本人が一番感じていた事だと思います。今回アンビシャスさん



米田から里帰りの姉の子と楽しいひと時。

から家族目線の記事を載せたいとの依頼を受け、書き始めようとペンを取ったのですが、母の事を思うと、涙が止まらなくなり何度も中断してしまいました。

母が伝えてくれる一文字一文字をこれからもっと大切にしていきます。私がこれまで在宅で母の介護を続けてこれたのはヘルパーさん、訪問看護師さん、保健師さんをはじめ支えてくれる多くの方の協力があったからこそです。ありがとうございます。

この場を借りて、これまでエッセイを楽しみに読んでくれたたくさんの方々、支えてくれた皆様に感謝です。

ありがとうございます。



「エッセイに思いを託して」

Present

アンビシャス会報誌に掲載したエッセイの集大成として、「エッセイに思いを託して」という冊子を諸喜田さんご自身で自費出版され、アンビシャスへもご寄贈頂きました。読者の皆様の中からご希望の方先着5名様へ進呈いたします。

(お申し込みはアンビシャス事務局まで)

県内の看護学生の皆様はそれぞれの看護学校へお送りしてありますので、各学校の教務部等へお問合せください。

(事務局よりのコメント)

今月の「表紙は語る」は、ご家族の中で介護の中心的な役割を担われている娘の幸代さんに家族の立場からの執筆をお願いしました。在宅で療養されている難病の家族の皆様もいろんな思いを抱えて生活をされていると思います。その様な方々の思いも伝えたいと今回このような企画を考えてみました。

そして諸喜田さんには平成23年2月より5年間、エッセイを執筆頂き本当にありがとうございます。

アンビシャス通信

11月の報告

あれこれ



コミュニケーション支援

勉強会

アンビシャスでは平成24年より、在宅支援者向けコミュニケーション支援勉強会を継続してきましたが、今回は11月12日に県総合福祉センターにて松尾光晴さん（パナソニックエイジフリーライフテック（株））を講師にお迎えし「コミュニケーション機器のご紹介及び入力スイッチ事例紹介（スイッチの適合）」と題し勉強会を行いました。

夕方6時半からと遅い開始時間にもかかわらず、各事業所の理学・作業療法士さんや当事者家族など約50名の方が参加され、関心の高さがうかがえました。

講師の説明の中で「目的は当事者との意思疎通であり、そのための方法、個々の状況に応じたゴール設定の見極めが大事」「レッツチャット・伝の心等の機器よりも個々人に適合したスイッチを見つけだし、スイッチ操作により意思が伝わる事が重要です」と繰り返し強調されました。

（例えば、どんな高級車もハンドルが無

ければ運転出来ないとアドバイスをいただきました。）

参加者からは

- ・動画での実例も有りわかり易かった。
- ・機器の事ばかりに捉われていたが、スイッチが大事だとよくわかった。
- ・ゴールの設定、器機選定のポイント、導入までの流れのイメージがついた。
- ・マイスイッチのサイトを参考にさせて頂きます。動画で確認できるのはとても助かります。

等々の感想が寄せられました。

スイッチ適合に関心のある方は左記サイトより適合事例（動画）をご確認ください。

マイスイッチ（松尾氏提供）

<http://myswitch.jp/>



番外編

『会報誌アンビシャス』ができるまで

今回は番外編として『会報誌アンビシャス』の編集から印刷、折曲げ、郵送までの工程をご紹介させていただきます。

毎月初旬から始まる編集作業は「表紙は語る」の方との数度にわたる打合せ、他のコーナーの執筆原稿の取り寄せ、編集・制作、校正と1ヶ月のうちにいくつもの工程を経て印刷にかかけられます。

印刷が上がるとまず読みやすいよう横2つに折り、その後封筒に収まるよう縦3つ折りにするのですが、その労力がある大変な作業を那覇市真嘉比にある「指定障がい福祉サービス事業所あるにこ」さんが毎月ボランティアでやってくれます。

それから月末発送に間に合うよう事務所スタッフで封入れを行い、郵送という手順でみな様の元へ早ければ毎月1日には届くようにしています。

このように多くの方の協力を得て、みな様のもとへ会報誌をお届けしています。もちろんそれが実現できるのも、多くの支援者の方からの寄付

があり、情報を提供してくださる難病当事者の方や医療従事者・保健所など各種機関の方々のご好意、そして何より毎月の会報誌を楽しみにしてくださる読者の方々あつてのことです。

ちなみに目の不自由な方用に音声版会報誌（CD録音）も発行していますが、その読み上げを先月より病氣療養から復帰したばかりの「マーちゃん」こと小波津正光さんが再び担当し元気な声を響かせています。

その他、会報誌のホームページへのアップ（PDF・音声・Web版）をそれぞれにスキルのある難病当事者の方が担当しています。

会報誌は読者参加型を目指しています。アンビシャス広場の「川柳・短歌」「読者の声」へ多くの方からのご投稿をお待ちしています。



指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さんでの折曲げ作業風景

こころの現場から



1 + 1 V 2
1 + 1 + 1 II ∞

新年明けましておめでとうござい
ます。本年が皆様にとりまして幸多
き、実り多き年でありますよう、こ
ころより祈念しております。

さて皆様はご自分の今の体調（例
…身体がだるく動けないを相手に伝える
時に、相手がどのような言動をするか
その返答と対応を自分だけの物差し
ではなく相手の体験を踏まえたり推
察したりして充分に考慮すると、自
他のより深い理解に繋がり、また誤
解も生まずに済み、心理的により良
い関係性を構築することができます。

例えば同じ難病患者からの言動と、
抗がん剤治療経験者からの言動と、
人工透析患者からの言動と、難病患
者の支援者（医療関係者含む）から
の言動とは恐らく異なるでしょう。
それでも「同病者だからわかる」だ
けではなく「同病者でなくても魂で
わかる」のです。
異なる難病・障がい・疾病患者でも、
虐待被害者でも、社会的弱者でも、

生きるために行ってきた努力は内容
は違えど同じだからです。そして支
援者も、難病患者の支援を行おう
と決めて生き続けていることには、
患者の納得に足る理由と努力がある
からです。

人は必ずしも自分の体験を語ると
は限りませんが、経験や知識が言動
の基になります。また聞く時は、時々
の心理状態に応じて自分が聴きたい
言葉だけを受け入れる傾向があるの
で、状況の変化や心理状態の安定や
精神的な成長によって、受け入れら
れる言動も変化します。

あなたのために涙を流し、あなたが
不当な扱いを受けたときに心底怒り、
あなたのところに寄り添う友に、あ
なたはこのアンビシャスでの繋がり
のなかで巡り会えていることでしょう。

新たな年も、共に助けになっ
て生きていくことができるよう、より
良い人間関係を築いていきたいもの
です。

1 + 1 > 2
1 + 1 + 1 = ∞



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つぶやきキャンパル

想いは重い、話すは放す。

悩みを軽くしませんか？

こんなキャッチフレーズを考えてみました。

一人で思い悩み、誰にも相談できず夜も眠れない。そんな
状態が長く続くと医療の専門援助が必要になってきます。

私も多少熱が出て、とりあえず様子を見て自分で
対処する方ですが、身体的でも精神的な不調でも「こ
れはいよいよ専門の医療機関に行かねば」と判断する
タイミングは大切だと思います。

普通、高熱が出ると近くのクリニックで治療を受けま
すが、風邪等の身体的な不調の場合と違い、精神的な苦
痛を感じている時、医療機関の受診を考えることは少
なく、実際受診されない方が多いのではないのでしょうか？

メンタル面での不調の場合、誰かに話す事でかなり
肩の荷をおろせることが分かっています。

一般的に女性の方が男性よりコミュニケーションをと
ることが上手なので、おしゃべりすることでストレス解
消していたり、世の男性はその愚痴をスナックのママに
聴いてもらって、ストレス発散しているのかもしれない
しかし難病の場合、病気の事を理解して聴いてくれる人は
少なく、心の負担を軽くするのは難しいかもしれません
そんな時は難病相談センターに相談してみませんか？

話は戻ってキャッチフレーズですが、

読み方は同じだけど、漢字の意味が

異なるが、流れは同じ方向なんです。

どうですか、覚えやすいでしょう。



著：照喜名 通

シリーズ「患者学」第9回

慶應義塾大学看護医療学部

教授 加藤 眞三

苦しみや嫌なことを話せる場作りを(その1)

「自立とは、多くの人に依存することである。依存する相手が増えるとき、人はより自立する。依存する相手が減るとき、人はより従属する。従属とは依存できないことだ。助けて下さい、と言えたとき、あなたは自立している。」安富歩氏の書かれたこの言葉を患者さんの集まりなどで紹介すると、その言葉によつて救われたといわれる患者さんも多い。

現在の政策は、一人だけで支援を受けずに生きていくことを理想としているように見えてしまう。だが、自立することは、一人だけで生きていくことではない。人間は一人だけで生きていくことは不可能だという、ごく当たり前のことを私たちに再確認させてくれる言葉であるからだ。

さて、「助けて下さい」と言えないだけではなく、自分の苦しいことやつらいことについて話すことができない人も多い。そもそも、暗い話を他人にしてはいけないという思い込みもある。こんなことを話したら嫌がられるのではないか、うつとういってしまうのではないかと考えてしまう。

また、実際に話してみると、それがあまり理解されなかったり、歓迎されないことも多い。「そんな暗いことばかり考えずに」とか、「あなたなんかよりもっと悲惨な人もいるわよ」とか否定的に返されてしまうと、もうそれ以上話を続ける気持が失せてしまう。患者会の中でさえも、暗い話はしづらい雰囲気があるという。

そんなことで始めたのが、「慢

性病患者ごつた煮会」である。肺高血圧症の患者会の世話をしている重藤さんから相談を受け、それでは病名にこだわらずに、患者さんに集まってもらい、辛いことや苦しんでいることを話せる場を創ろうということになった。

自分が病気を抱えてどのような問題が生じたのか。病氣のためにどのような不安を感じているか。何がつらかったか。つらいときなどに、どのように対処してきたか。つらさを乗り越えた人は、どのようなことが問題を乗り越えるきっかけとなったかなど、あくまで、自分の体験を中心に話してもらいようというお願いしている。

言い放し、聞きっぱなし、批判しない、同情しない、ほめない、けなさない、評価しない、自分と比べない、自分の意見を押しつけない。これらの簡単なルールを定めて6〜8人のグループで90分ほどの談話する時間をもっている。

最初に話す人が重い話をして

やすくなる。苦難を乗り越えてきた人には、乗り越えて今はこんなに幸せという話ではなく、辛かった時のことを話してもらいようにしている。

次号に続く

参考図書

安富歩「生きる技法」青灯社
加藤眞三「患者の力」春秋社



患者の力:

患者学で見つけた医療の新しい姿

出版社: 春秋社

「患者には力がある!」 毎日を健康に生きるために、そのためにも、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なこととは。

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。1985年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。1985-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。その後、都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。



2016年1月の各団体定例会・交流会スケジュール



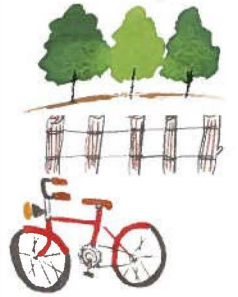
団体名	日(曜日)	時 間	場 所
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	9日(土)	14:00~16:00	八重山福祉保健所
宮古地区・網膜色素変性症患者・家族のつどい	9日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
全国膠原病友の会・沖縄県支部	10日(日)	14:00~16:00	那覇市保健所3階 多目的室C
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	13日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	16日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	17日(日)	16:00~18:00	サンアビリティーズうらそえ 研修室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	19日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ
神経難病友の会八重山	21日(木)	14:00~16:00	福祉センターボランティア推進室
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(金)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館
沖縄県網膜色素変性症協会(JRPS沖縄)	24日(日)	8:30~17:00	ミカン狩りとさくら見物(本部町伊豆味) 会費1,200円 申込み 下記各部会担当者まで 締切1/13迄

※詳細は下記患者団体連絡先へお問合せください。

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒島 妙子	(黒島)070-5413-8350
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 http://okinawa-ibd.ciao.jp/
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 http://blog.kougen-okinawa.sunnyday.jp/
もやの会沖縄ブロック	金城 忠英	(金城)098-879-5591
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉)090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	伊波多和子	(新里)090-5028-4599
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(金城) メール:chi070907@yahoo.co.jp 南部部会(当間) 電話:080-6495-6846 那覇・浦添連絡員(國頭) 電話:080-2773-1571 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622 宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174
神経難病友の会八重山	松藤 純	(松藤)090-6635-4185 (島仲)090-8763-3670
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109

アンビシャス 広場



エッセイ 最終回 諸喜田 美智代さん(ALS)

最後のエッセイ

私の今の体調は体がだるく、早く楽になりたいと思うほどきつい。くいしばりもひどく毎日思いきり舌を噛んでは出血を繰り返している。

目の動きも悪くなり、文字板を使うのも難しくなった。

それでもエッセイは続けようと、二文字一文字時間をかけて頭の中の文章を伝え、それを娘がノートに書き留め上手に構成、編集し仕上げてきた。

最近、目を動かす事すら難しい時が多くなり、思いがすぐに伝えられない辛さ、思い違いを訂正出来ない生活は大変。5年間毎月書き続けたエッセイを今月で最後にしたい。

一緒にやってきた娘編集長に感謝。

このような場を提供してくれたアンビシャス、支えてくれたたくさんの方々、いままで応援してくれた皆さん、本当にありがとうございます。

アンビシャスより

5年間大変お世話になりました。楽しみも苦しみも諸喜田さんの生の声に触れることができたエッセイでした。残念としかな言えないのですが、本当にお疲れ様でした。

また、遊びに行きますので、これから宜しくお願ひ致します。照喜名通



患者団体からのおたより

沖縄IBD

(沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会)より

沖縄IBDでは毎年恒例の調理実習を県内病院で勤務されている管理栄養士の方々の指導のもと11月1日(日)那覇市保健所調理室で行いました。(今年で17回目)

潰瘍性大腸炎の患者さんは、状態が悪い時以外は普通に食事をされますが、クローンの患者さんは消化吸収機能が低下して十分な食事が摂れなかったり、炎症によりエネルギーを奪われ、低栄養状態にあるため日ごろから食事制限が強いられます。

そこで毎年クローン病患者にやさしいメニューを作り、日々の生活のQOL向上に役立てています。

今年のメニューは、「ふわとろなデミオムライス」「コクのある野菜スープ」「ヨーグルトスフレ」「素うどん」を作りました。



みんなと一緒に作る楽しさ、みんなと一緒に食べる楽しさはとても有意義な時間です。調理実習は、毎年秋に開催していますので患者さん及びご家族のみなさん、お気軽に参加ください。

最後になりますが、栄養士の方々の指導を頂きありがとうございます。



読者の声



162号を読んで、当事者の方が発症してから現在に至る様子や、絵画等の創作活動に難病を患っている可能性は無限大だと感じました。またユニークな短歌・川柳に障がいがあっても明るく日常生活を送っている様子がうかがえ、もつと沢山の人がアンビシャスの会報誌を知って欲しいと思いました。

看護学生 M.Y

11月号の表紙、新里龍太さんの「支えられるだけでなく支え合える人でありたい」という言葉に患者として支えるだけでなく、難病も個性と捉えその人そのものを尊重する事の大事さを学びました。また表紙の方の体験談に他の難病の方が勇気付けられ、家族の支えに繋がりととても重要な情報源だと思います。

看護学生 M.M

「読者の声」へのご投稿のご案内
みなさまからのご投稿をお待ちしています。

*採用の方には500円相当のクオカードを進呈します。

*採用の方へクオカード送付のため住所、氏名も明記してください。

*匿名希望者はペンネームもご記入ください。



お勧め映画情報

オススメ3選

「もしも昨日が選べたら」

日常生活を自在に操れるリモコンが手に入ったら、どうしますか？

ファンタジーコメディで、考えさせられもする作品。

「ウォルター少年と夏の休日」

マイケル・ケインとロバート・デュバルの老兄弟が、14歳少年と過ごす、ひと夏のハートウォーミングな作品。年の取り方には、理由・原因ってあるもんなんですね。

「ペイフォワード」

もし君たちが世界を変えたいと思ったら、何をしますか？実行に移すのは難しいかもしれない事を、個々に地道に実践すれば何かは変えられると、思う。一言で表すなら・・・。

渡久地 優子

(進行性骨化性線維異形成症 (FOP))

カラーセラピーやパワーストーンも好きで、時々、ネットで見てます。

難病短歌 難病川柳

難病短歌

秋風を感じる肌に 陰落ち 思い起さば 元気な私

ベンネーム miyaさん(繊維筋痛症)
繊維筋痛症を発病以来、風・光も痛く忘れてた「風」。天気の良い日、思いきって
ベットの窓を開けた時自然な風が心地良く感じられた。

難病川柳

忘れ物 みんな薬の やいにする

ベンネーム 樹々さん(パーキンソン病)
都合のいい言い訳でしっています。

今月の占い

ストレス解消法

牡羊座

3月21日～4月19日
断捨離で心も体も
スッキリと
ス：料理

天秤座

9月23日～10月23日
もっと視野を広げて
前向きに
ス：音楽

牡牛座

4月20日～5月20日
自分なりの
リフレッシュ法を
ス：散歩

蠍座

10月24日～11月21日
小さな事にも感謝
の気持ちを
ス：睡眠

双子座

5月21日～6月21日
楽しく過ごせる
環境づくりを
ス：運動

射手座

11月22日～12月21日
大切なものは
近くに有る
ス：映画

蟹座

6月22日～7月22日
心と体に優しい
料理を食べて
ス：仮眠

山羊座

12月22日～1月19日
幸も不幸も己の
心が決める
ス：掃除

獅子座

7月23日～8月22日
汚い・悪い言葉遣いに
気をつけて
ス：会話

水瓶座

1月20日～2月18日
怠慢にならず身を
引き締めて
ス：運動

乙女座

8月23日～9月22日
公平に優しい心で
接する事から
ス：瞑想

魚座

2月19日～3月20日
結果を恐れず
自分を信じて
ス：歌唱

編集後記



この項を書いている12月中旬過ぎ、
いつまでも暑く「冬はどこ行った」
と日常の会話を交わしていたと思っ
たら、突然の寒波襲来！全く心と身
体の準備が整わず、体調を崩す方も
見受けられる今日この頃ですが、み
なさん体調は如何ですか。

「表紙は語る」でも触れたのです
が、5年に渡り本誌のエッセイコー
ナリを担当して頂いた諸喜田さんが
今月号をもって卒業されました。

今まで私たちは出来上がった「エッ
セイ」を何気なく普通に読んでしま
い、その過程の中、大変な思いで一
文字一文字、言葉を紡いで生まれた
文章だという事をつい見過ごしてい
ました。さりげない言葉の裏のご苦
労にただただ頭が下がるばかりです。
これからは少し肩の荷をおろし、一読
者として会報誌を楽しんでください。
次月からまた新たな方にこのコー
ナリをお願いする予定で人選を進め
ています。乞うご期待！
新年を迎え、寒さが一段と厳しい時
期になりますが、みな様、身も心も
健やかにお過ごし頂くよう祈念申し
上げます。

2016年 1月の各保健所からのご案内

- 【中部福祉保健所】Tel:098-938-9700
- 【南部福祉保健所】Tel:098-889-6945
- 【八重山福祉保健所】Tel:0980-82-3241
- 【宮古福祉保健所】Tel:0980-72-8447
- 【北部福祉保健所】Tel:0980-52-2704
- 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962

1月の予定はございません。

2016年セカンドオピニオンのご案内



難病医療相談会
セカンドオピニオン2016
クロウン病・潰瘍性大腸炎

難病の詳しい説明、治療・療養について、難病専門医による、個別相談(30分)を受けています。

●消化器(クロウン病・潰瘍性大腸炎)
専門医 金城福則(浦添総合病院)

●日時:平成28年3月12日(土)14:00~16:00(定員4名)

●場所:県難病相談支援センター(認定NPO法人アンビシャス内)

事前予約要。多数の場合は調整させていただきます。お問合せ:098-951-0567(担当:照喜名)

無料

1. 膠原病 難病医療相談会(2月15日実施)

12月末現在で定員(4名)に達しました。

※予約キャンセルもあり得ますので、ご希望の方はアンビシャス事務局までお問合せください。

2. クロウン病・潰瘍性大腸炎 難病医療相談会(3月12日実施)

【日時】平成28年3月12日(土)14:00~16:00

【場所】沖縄県難病相談支援センター アンビシャス
(那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階)

【対象疾患】クロウン病・潰瘍性大腸炎(患者・家族)

【医師】金城 福則先生(浦添総合病院)

【受診料】無料

【定員】4名(1人30分、先着予約制)

【申込み】沖縄県難病相談支援センター アンビシャス

【問合せ】098-951-0567(担当:照喜名)
平日10:00~18:00迄(土日祝祭日休業)

【緊急予告!】加藤眞三教授 特別講演会のお知らせ

アンビシャス会報誌5ページ「シリーズ患者学」でおなじみの加藤眞三教授の沖縄で初めての講演が決定しました。3月6日(日)に患者対象の特別講演を予定しています。

まだ企画の段階ですが、いち早く皆様へお伝えし、多くの方々にご参加頂きたくご案内申し上げます。アンビシャス会報誌2月号で正確なご案内を改めて致しますので、多少の変更はご了承ください。

※会場、時間等は予定です。

日時:平成28年3月6日(日) 14:00~16:00(予定)

会場:浦添市産業振興センター「結の街」(予定)・・・国立劇場おきなわ向かい

演題:「患者の力」～患者には力がある!～(仮題)

入場無料 難病当事者を含め患者力に関心のある全ての方を対象とします。

主催:難病相談支援センター 認定NPO法人アンビシャス

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人

●全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々

●驥尾の会 ●株式会社ぼーしょん ●匿名2名

11月のご寄付

●MS TAZUKO S. FERGUSON ●MS&ADゆにぞんスマイルクラブ ●有限会社 セイアン

●日本女子テニス連盟 ●カラオケハウス サウンドメール

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

11月のご支援・ご協力

●難病情報誌163号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●ココストア浦添宮城三丁目店 ●レストラン&カフェ「オン・ディッシュ」 ●フォーモストブルーシール北谷店
●MISTY本店・美浜店 ●有限会社育英堂書房 ●てだこボウル ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく
●花野原 ●ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社
●さわやか歯科クリニック ●三郎寿し ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会
●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ~ ●サウンドメール ●又吉内科クリニック
●しゃんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●さくら家さくら ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
●豚骨拉麺昇家 ●カラオケシアターDisone ●沖縄ちゃんぷるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA
●沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●八重山そばびんだま
●串焼き屋あだん ●山城二輪 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア
●全保連コントロールセンター ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社大成ホーム
●照正組 ●株式会社かりさら ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●メディケアセンター
●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ ●株式会社いなんせ典礼 ●ジョッキハウス ●ギャラリーカフェ 海ばたー

法人賛助会員 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●有限会社クニオフィスサプライ ●株式会社 アイアム
●弁護士法人岡野法律事務所 ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
●有限会社 翔南石材 ●しゅくみね内科 ●有限会社 ダイヤプリント ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社ウェルビー
●オリオンビール株式会社 ●株式会社 名城 ●株式会社ざまみダンボール ●高良登記測量事務所 ●水のサンクス
●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●有限会社 長堂商事 ●株式会社 アース ●プログレス
●有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護支援センター ●株式会社 ぼーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜
●南西医療器株式会社 ●有限会社医学写真研究所 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 表飯石の水

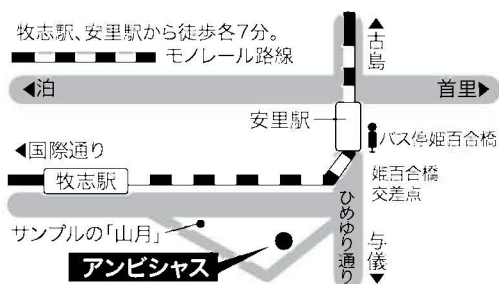
難病のことをもっと知りたい、それに伴う不安や
家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

難病無料相談 (電話・来所・メール・FAX)

☎098-951-0567 ☑info@ambitious.or.jp

平日10:00～17:00 (土日祝日・年末年始はお休みです)

ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。



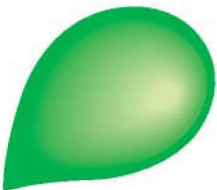
〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)

Tel:098-951-0567 (代表) Fax:098-951-0565 <http://www.ambitious.or.jp>

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒900-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL:098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの楽しさを。
Answer for you. TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer for you. TOYOPET

複写機・OA器機リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案

KOS 有限会社
クニオフィス サプライ

本社 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号
Tel:098-879-0162(代) Fax:098-879-0198
E-mail: kos-knti@nirai.ne.jp
http://www.kunioffice.net
北部営業所 〒905-0006 沖縄県名護市大北5丁目20番25号
Tel:0980-51-1600 Fax:0980-51-1601

とちかおくちょうさし
土地家屋調査士
伊波 学
098-897-1245
http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

お墓のしょうなん
新築・修繕・建替え
お墓の年間管理いたします
◎お墓よろず相談所(無料でご自宅へ出張OK)
《見積無料》有限会社 **翔南石材**
☎945-8771 西原町字我謝688-7

協賛広告のお願い

お申込:アンビシャス事務局
TEL:098-951-0567
e-mail:info@ambitious.or.jp



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

Otsuka 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9